

資格がどう生きるか？ PART II

進路指導主事 石原 俊明

今月号では、「資格がどう生きるか？」を進学の視点から述べさせていただきます。また公務員試験において、今年度は利根沼田広域消防に本校から3名合格、みなかみ町役場に1名合格、自衛隊に1名合格、計5名合格という「快挙」が成され、その特集記事を組みましたので参考にいただければ幸いです。

進学

特集 検定資格と進学

検定資格が進学にどう生きるのかについて具体例を掲載いたします。具体的には「入学金」「授業料」の一部、または全額が免除となります。また東京経済大学の指定校推薦を受ける際の条件になる場合や中央情報経理専門学校の特待生入試の条件になる場合もあります。

〈関東学園大学〉

特待生①：入学金全額免除（33万4千円）・4年間授業料半額免除（166万4千円）

条件：日商簿記2級・全商1級4種目以上・実用英語技能検定2級

特待生②：入学金全額免除・初年度授業料半額免除（66万4千500円）

条件：全商1級3種目以上・実用英語技能検定準2級

特待生③：入学金全額免除

条件：全商1級2種目以上

特待生④：入学金半額免除（16万7千円）

条件：全商1級1種目以上

*今年度、関東学園大学には本校より上記①に3名、上記②に5名合格しました。

〈上武大学〉

特待生A：4年間授業料全額免除（264万円）

条件：日商簿記検定1級・実用英語技能検定準1級

特待生B：4年間授業料半額免除（132万円）

条件：日商簿記検定2級・実用英語技能検定2級

特待生C：1年次授業料全額免除（66万円）

条件：全商簿記実務検定1級・全商商業経済検定1級・実用英語技能検定準2級

〈高崎商科大学〉

特待生A：入学金全額免除（25万円）・初年度授業料全額免除（69万6千円）

PCDプログラム初年度受講料全額免除

条件：日商簿記検定1級・実用英語技能検定準1級

特待生B：初年度授業料全額免除（69万6千円）・PCDプログラム初年度受講料半額免除

条件：日商簿記検定2級・実用英語技能検定2級

特待生C：初年度授業料一部免除（20万円）

条件：全商情報処理検定1級・全商簿記実務検定1級・実用英語技能検定準2級

〈東京経済大学：経営学部・現代法学部〉（指定校）

出願条件（資格・左記の中の1つ）：日商簿記検定2級・全商簿記実務検定1級・実用英語技能検定準2級・全商英語検定1級・全商情報処理検定1級・ITパスポート

〈中央情報経理専門学校〉

特待生入試：1年次授業料半額免除

条件：日商簿記検定2級・全商検定1級4種目以上

特別推薦入試A：入学金全額免除

条件：全商検定1級3種目以上・実用英語技能検定準2級・漢字検定準2級



特集 公務員合格体験記

〈利根沼田広域消防本部〉 30名以上受験 合格者8名 倍率約4倍

星野浩太君、入澤宙夢君、林翔也君の3名が合格し、代表して星野浩太君に話を伺いました。

「合格するために努力したことは何ですか？」

「利根商の公務員講座は1年次より継続して受け、大変効果があった。1次試験が筆記試験なのでそれを突破するために、試験の数か月前から専門学校の無料セミナー（大原学園・群馬法科ビジネス専門学校）に参加し、一生懸命学習した。テキストは大変わかりやすく学習効果があがった。先生が述べられたテストを解く時のポイントは全てメモを取った。基本的に講師の先生が述べられたことは全て記録し、記憶した。夏休みには群馬法科ビジネスの有料の3週間の講習を受けた。そのテキストと先生の講義が非常に役に立った。点数を確実に取るために解法を教えてくださいました。講習が終わって帰宅後は必ず『復習』をした。また先輩方の受験報告書が大変役に立った。面接練習を重ねることで本番ではリラックスして自信を持って自分の『思い』を伝えることができた。面接練習は大原学園の先生と進路主事の石原先生にさせていただき、指導の共通点は『明るくハキハキと話すこと』と『面接官の印象に残るような個性的な独特の内容を話すこと』でした。」

「面接で志望理由はどんなことを述べましたか？」

「私が消防士になろうと思った理由は、実体験にあります。それは中学生の時のことでした。その日は平日だったので私の兄は学校に行き、母は仕事に行っていました。その時、祖父母は石油ストーブを点けたまま買い物に出かけてしまいました。家に煙が立ち込めているのに気付いた近所の方が開いている窓から家に入り、火を消してくれたおかげで火事には至りませんでした。消防の方にも出動していただきました。もし火事になっていたら家を失っていましたし、祖父母が昼寝をしている時だったら大切な家族を失っていたかもしれません。これは年々高齢化率が進んでいる利根沼田地域ではこれからも起きる確率が高まると思います。私は利根沼田地域の方々の命や大切な財産を失わせてはいけな心から思いました。またこの地域に

は旧生方家住居や沼田城址など多くの文化財があり、私自身の手によってそういった財産を火事や災害から守り次世代の子どもたちに残していきたいと強く思い消防士を志願しました。」

* 使用問題集

「公務員合格セミナー 初級本科 テキストブック 一般知識 実践編」 (実務教育出版)



〈みなかみ町役場〉 27名以上受験3名合格 倍率9倍

関桃菜さんから話を伺いました。

「どのような試験で、どのような努力をしましたか？」

「1次試験は27名いて、2次試験に10名が残り、最終的には3名合格という難度でした。利根商の公務員講座は一生懸命受講した。昨年度本校から国家公務員に合格した飯塚新也先輩の参考書・問題集(進路室にあったもの)を借りて猛勉強しました。自分でも書店で問題集を購入して学習しました。私は吹奏楽部で活動していたので文武両道は大変でしたが、帰宅後は11時までには必ず勉強しました。毎日のことなのであまり遅くまで起きていると授業中眠くなるので11時過ぎには就寝し、朝は毎日6時に起きて最低1時間は学習しました。専門学校(大原学園・群馬法科ビジネス専門学校)の先生の指導は大変有意義で効果がありました。普通教科で歴史や生物や地理の受験に関わる詳細な箇所の実践的なポイントを丁寧に指導してくださいました。

面接指導は専門学校の先生や利根商の多くの先生の指導を受け、志望動機一つにしてもいろんな先生からいろんなアドバイスを受け、より洗練された優れたものに練り直すことができました。また回数を重ねるうちに話すことに慣れ、本番では落ち着いてリラックスして面接を受けることができました。共通したアドバイスは『笑顔で明るく話すこと』と『話す内容は詳しく個性的なものを言うこと』でした。受験勉強は、多くの教科を学習するので、力を入れる教科がかたよってしまうため万遍なく学習することを心がけました。」

「面接で志望理由はどんなことを述べましたか？」

「私は生まれ育った町としてみなかみ町が大好きです。水上温泉は、イメージキャラクター『おいでちゃん』の活躍やラフティングなどのアウトドアスポーツの人気、またスキー客の増加により水上を訪れる人が増えてきているように感じます。しかし水上温泉への宿泊客は減少しているとう資料を拝見し、より多くのお客様が訪れるような魅力ある観光地づくりの仕事に携わりたいと考え、みなかみ町役場を志望いたしました。」

* 使用問題集

「新・初級スパー過去問ゼミ 判断推理・数的推理・文章理解資料解釈（実務教育出版）」



〈自衛隊 自衛官候補生〉 倍率約10倍

野口昌宏君に話を伺いました。

「合格するためにどのような努力をしましたか？」

「夏休みに利根商の柔道場で後輩が部活動をしている間、柔道場の隅に机をおいてずっと猛勉強しました。分からない箇所をすぐに顧問の先生に質問ができた点が良かったです。また先生が目の前にいるのでサボることが許されずに自分を律して学習に集中できました。午前はそのように学校で学習し、午後は自衛隊の方が前橋で2週間の期間で勉強会を開いてくださったのでそれに全て参加しました。知らない人が多かったので学校生活のような馴れ合いにならず、真剣な雰囲気の中で集中して学習ができました。利根商の公務員講座は1年次より継続して受講し、大変ためになりました。2次試験直前には、自衛隊の沼田地域事務所に赴き、直接面接指導を受け、大変ためになりました。本番の面接試験と変わらない臨場感と緊張感の中で面接練習を受けて自信が付き、本番も落ち着いて受験できました。自衛官の方には『ビシッとした姿勢』で『大きな声で話さない』と指導を受け、実践しました。筆記試験は過去問題と重複するものが多いので繰り返し過去問題を解いて、問題傾向に慣れることが大切です。」

「面接で志望理由はどんなことを述べましたか？」

「人に役に立つ仕事に興味があり、そのような仕事に長くたずさわりたいと思ったからです。特に自衛隊は地域だけでなく国全体のために人々を救ったり、守ったりする活動をしており、私もその誇りある自衛隊の一員になりたいと思い志願しました。また中学・高校と6年間続けた柔道で身に着けた体力と粘り強さを人々のために生かしたいと思い志願しました。」

〈見聞録コーナー〉

【前橋医療福祉専門学校と群馬大学医学部大学院】

前橋医療福祉専門学校の理学療法学科から群馬大学医学部大学院に編入が可能です。（前橋医療福祉専門学校 入試広報主任の方より）